



小松SSHだより

石川県立小松高等学校

第6号 H21.9.30
編集 : SSH推進委員会
発行責任者 : 早川弘志

★★★★★ 科学的探究力、人間力、自己表現力、国際感覚の育成をめざす ★★★★★

平成21年度 第1回SSH運営指導委員会

9月9日(水)、本校大会議室にて平成21年度第1回SSH石川県運営指導委員会が開かれ、7名の外部委員と19名の学校側委員が出席しました。

最初に石川県教育委員会事務局学校指導課課参事・竹中功氏と早川校長が挨拶をし、その後は昨年度に引き続き座長に選任された金沢大学大学院教授・中西孝氏の司会のもと会が進行しました。

まず、小松高校SSH推進室長・板東教諭が今年度の事業について概要を説明し、引き続き、8月に1年理数科を対象にして行われた「野外実習」について、また、2年理数科が参加した「工学部における実験セミナー」について、「事業評価表」をもとにして担当が報告しました。

また、各学年の理数科生徒を対象にして実施した「SSH事業に関する聞き取り調査」の集計結果も提示され、要点について説明をしました。

当日出席された外部委員及び指導主事は以下の通りです。(敬称略)

- ・中西 孝 (金沢大学大学院教授)
- ・井村 久則 (金沢大学大学院教授)
- ・杉山 公造 (北陸先端科学技術大学院大学理事・副学長)
- ・山部 昌 (金沢工業大学教授)
- ・森 俊偉 (金沢工業大学教授)
- ・春木 俊一 (小松市立第一小学校校長)
- ・竹中 功 (石川県教育委員会事務局 学校指導課課参事) [岩本 弘子学校指導課長・代理]
- ・朝田 肇 (石川県教育委員会事務局 学校指導課指導主事)

※中山 賢一氏 (小松精練株式会社代表取締役社長) は所用のため欠席。

第2回SSH運営指導委員会は2月頃に行われる予定です。

してみてラボ 「謎の生物クマムシをさがそう」

本校の生物部の生徒4名と教員1名が、9月12日(土)に石川県立自然史資料館で行われた「してみてラボ」に参加しました。クマムシはユニークな生物で、乾燥したクマムシは、極端な高温や低温にも高圧にも強く、強い放射線にも耐え、百年以上も命を保つといえます。有名なのにほとんどの人は見たことがないクマムシを採集し顕微鏡で探し出して観察したり、乾燥したクマムシに水をかけて復活する様子を観察しました。



科学わくわく広場

日時：平成21年9月5日（土）
会場：市民ギャラリー「ルフレ」

理化部の生徒2と生物部の生徒4名が、小学生およびその保護者を対象に「きれいな色のスライムをつくる」の実験指導を行いました。

大変盛況で、約80名の小学生や保護者の方が参加しました。本校の生徒達は、どうしたらわかってくれるかを工夫し、模索しながら、小学生達に熱心に指導しました。実験を通して交流しながら、楽しいひと時を過ごしました。



《生徒の感想》

- スライムの作り方は簡単なので教える方としては特に不備もなく教えられて良かったです。
- 小学生はみんな元気を通り越してエネルギーでした。
- スライムに色をつけるのに一生懸命な子や、揉む作業に飽きてしまう子などがいましたが、みんな最後には完成させてうれしそうに持って帰ってくれたので嬉しかったです。

理数科課題研究発表会のお知らせ

11月3日（火・祝）のオープンスクールの日、理数科課題研究発表会を13:00より本校3F視聴覚室にて開催します。理数科2年40名が11のグループに分かれ、テーマを決め、担当教諭や大学の先生方の指導のもと、4月から研究を行ってきました。その成果をぜひご覧ください。

課題研究発表会での発表の順番は以下のとおりです。

	研究テーマ	分野
1	レインボーローズの研究	生物
2	ダイコン	生物
3	Trefoil Knot	数学
4	物体の飛行	地学
5	化石から知る	地学
6	生活の中の確率（統計）	数学
7	明治時代の和算家に挑む	数学
8	やさしさあふれる木の実エタノール 一定量編	化学
9	完全有向グラフとボス点の存在	数学
10	バビロンの問題の幾何学的証明	数学
11	水からの伝言 水の不思議	化学